資料１

令和８年度特定保健指導実施機関研修会

～特定保健指導の成果とこれから～

「もしも」と「いつも」に安心を。
協会けんぽ

令和８年９月１１日
全国健康保険協会大阪支部
企画総務部保健グループ

1．協会けんぽ保健グループのミッションについて

全国健康保険協会は、保険者として健康保険事業及び船員保険事業 を行い、
加入者の皆様の健康増進を図る ともに、良質かつ効率的な医 療が享受できるようにし、もって加入者及び事業主の皆様の利益の実現 を図る。

→ 生活習慣病の発症や重篤化を抑え、加入者の皆様の健康増進を図る

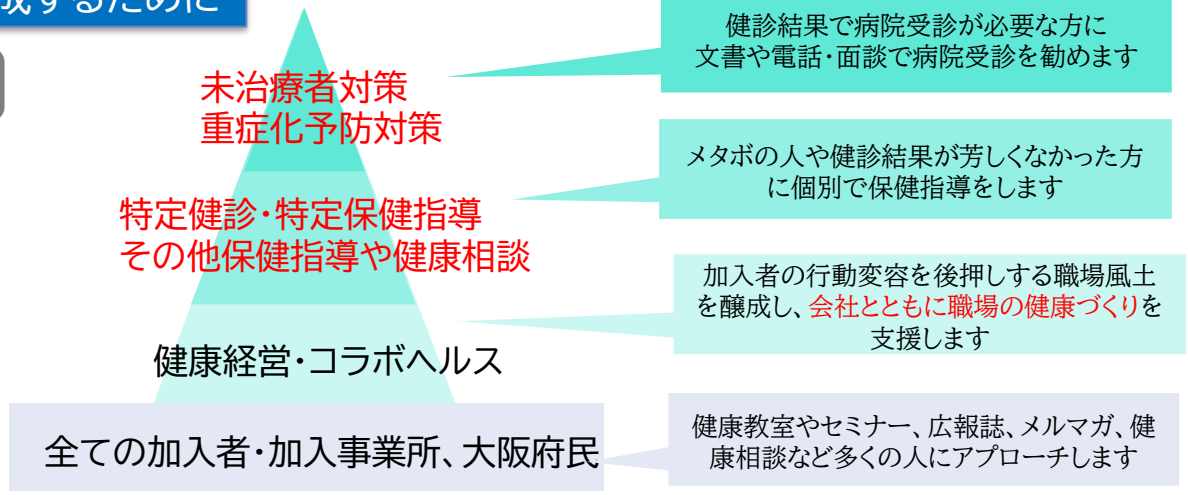
行動目標とKPI(達成度を確認する指標)

行動目標	KPI （行動目標の達成度を測る）
1. 健康経営・健康づくりに取組む事業所が増える	健康宣言事業所数
2. 生活習慣の改善に取組み、好ましい生活習慣が習慣化する人が増える	特定保健指導実施率
3. 健診を必ず受け、必要な治療を継続する人が増える	生活習慣病予防健診実施率・事業者健診データ取得率・ 特定健診受診率 未治療者受診率(血圧・血糖・脂質検査値が異常な人)

基本ミッション　KPI達成するために

具体的な行動計画は？





協会けんぽ

２．特定保健指導他アウトカム評価の見える化



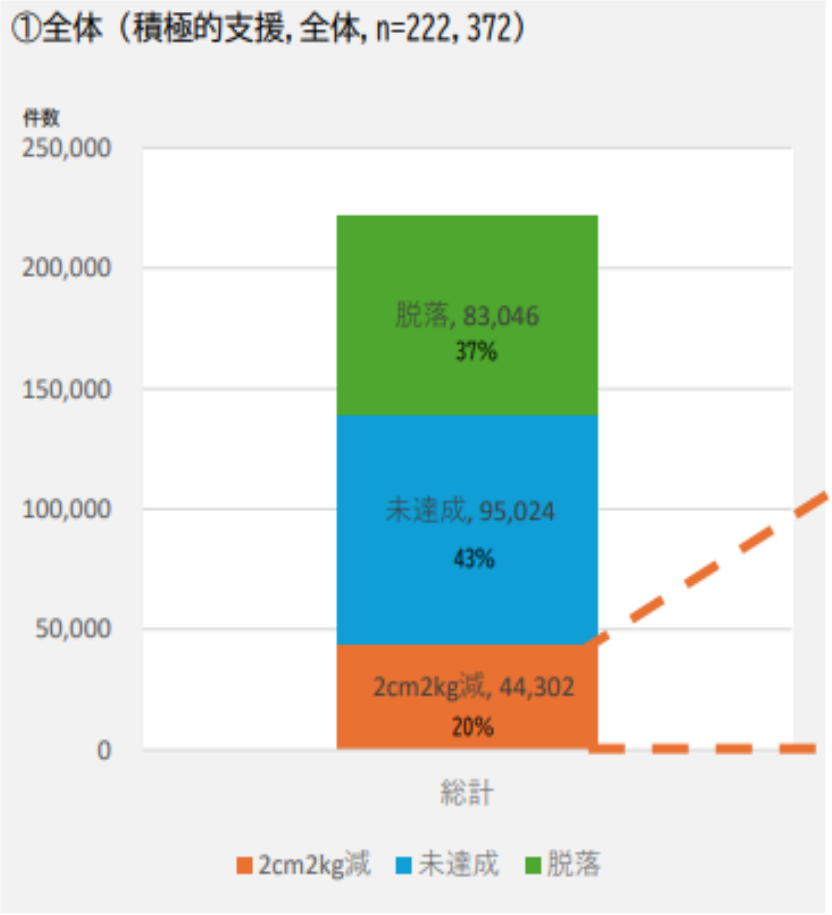
２－１　特定保健指導を受けた人その後「協会けんぽ全体」
２－２　2㎝2Kg減達成者、未達成者、脱落者　の目標設定の傾向
２－３　「直営・委託別」　２㎝２kg減達成者の傾向とその後
２－４　年代別で、「2㎝2Kg減達成者、未達成者、脱落者」の傾向
２－５　特定保健指導を受けた「リピータ」のその後

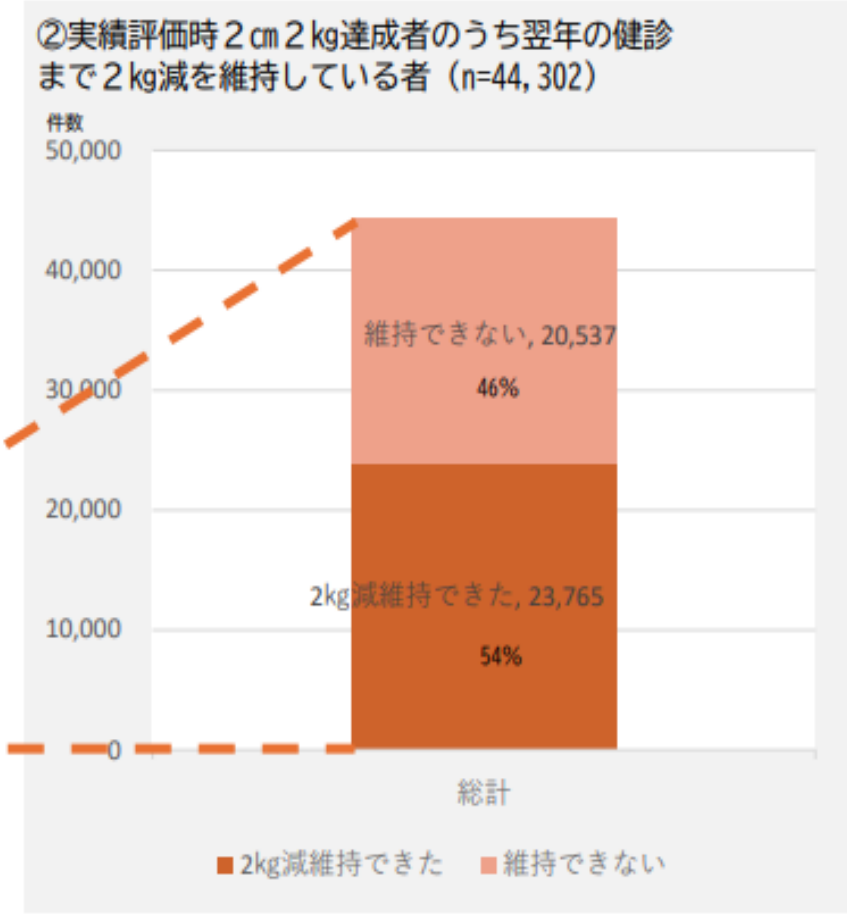
３．特定保健指導実施者数　初回面談　と　実績評価

４．これから　被扶養者の特定保健指導

５．おわりに

2cm2kg減達成者は約20%であり、翌年の健診時まで2kg減を維持している者は約54%でした。





特定保健指導における積極的支援対象者のうち、令和6年度健診に基づき令和6年度内に初回面談を実施し、かつ令和7年度の健診結果がある者222,372人（直営+委託,令和8年6月時点に登録済のもの）について集計。

２－２　2㎝2Kg減達成者、未達成者、脱落者　の目標設定の傾向を見てみました。

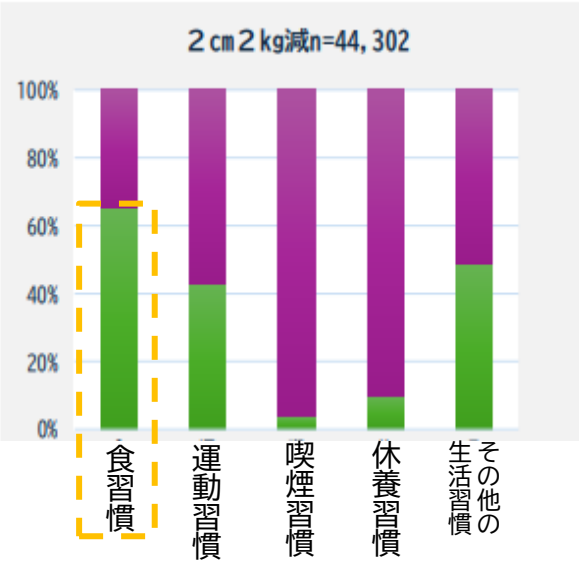
○ 目標設定で最も多いのは食習慣で、次に運動習慣、その他の生活習慣となっています。

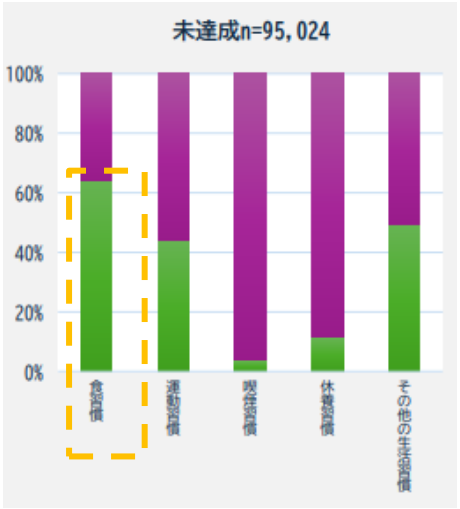
○ ２㎝２kg減達成者、未達成者、脱落者ともに目標設定の割合に大きな差はみられませんでした。

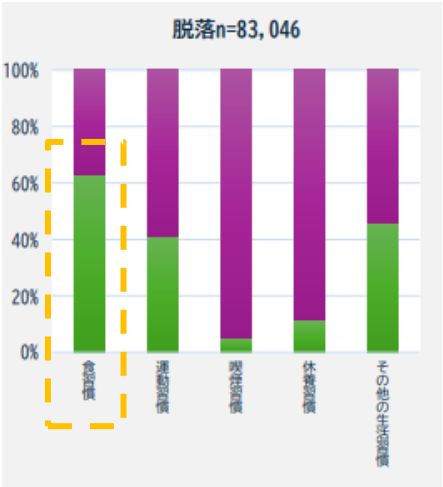
○ ３番目に多い「その他の生活習慣」の内容は、「毎日の体重測定」等です。

○すべての生活改善項目において、２㎝２kg減達成者と未達成者の間に大きな差はありませんでした。









協会けんぽ

２－３ 「直営・委託別」2cm2kg減達成者の傾向とその後を見てみました

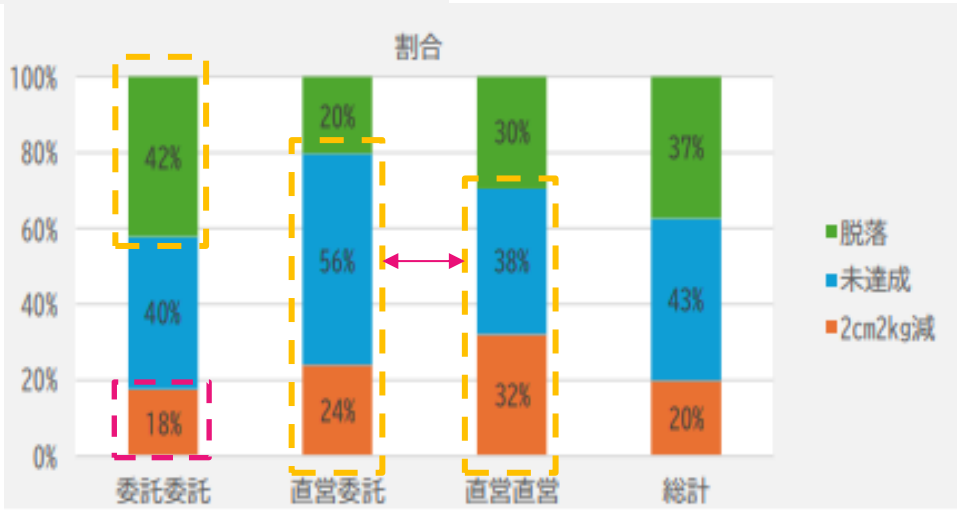
○ 委託は、2cm2kg減達成者の割合が最も低く、脱落者の割合は最も高くなっています。

○ 直営直営（継続委託なし）は、2cm2kg減達成者の割合が最も高いですが、未達成を合わせると直営委託（継続支援委託）が最も高くなっています。

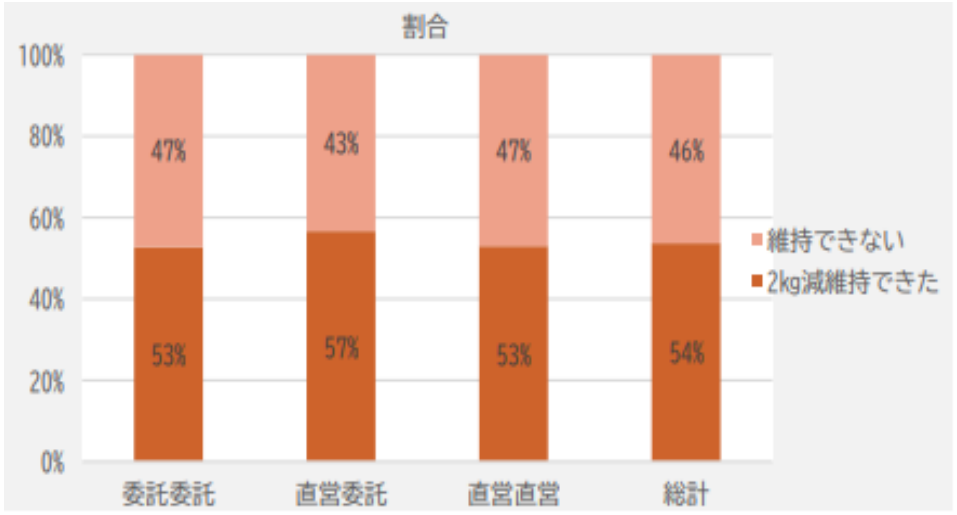
○ 下段の2cm2kg達成者のうち翌年まで維持している割合は、直営委託(継続委託）がわずかに高くなっています。

※初回面談を令和7年度4月以降の後日に実施したものは含まれていないため、直営の件数は少なく計上されています。

①実施機関別（積極的支援, 全体, n=222, 372）



②実績評価時２cm２kg達成者のうち翌年の健診まで２kg減を維持している者（n=44, 302）



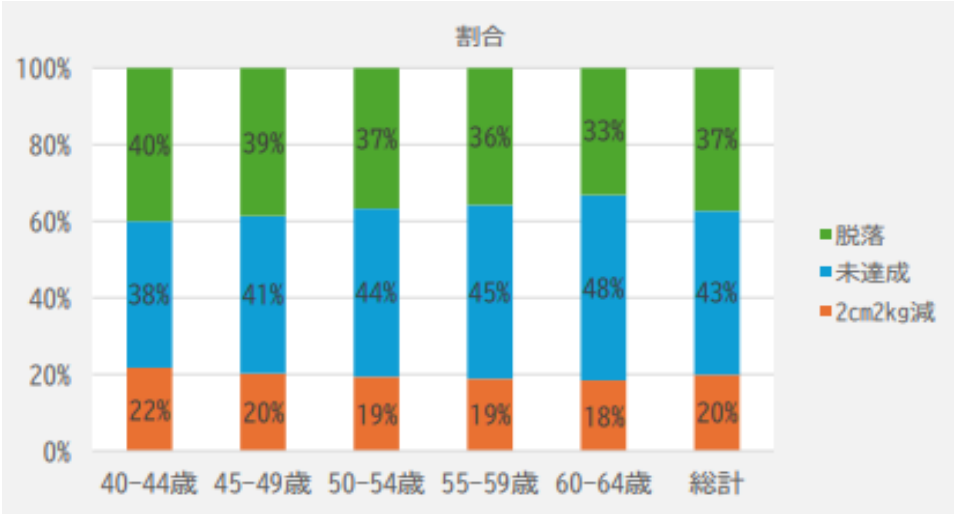
協会けんぽ

２－４　年代別で、「2㎝2Kg減達成者、未達成者、脱落者」の傾向を見てみました。

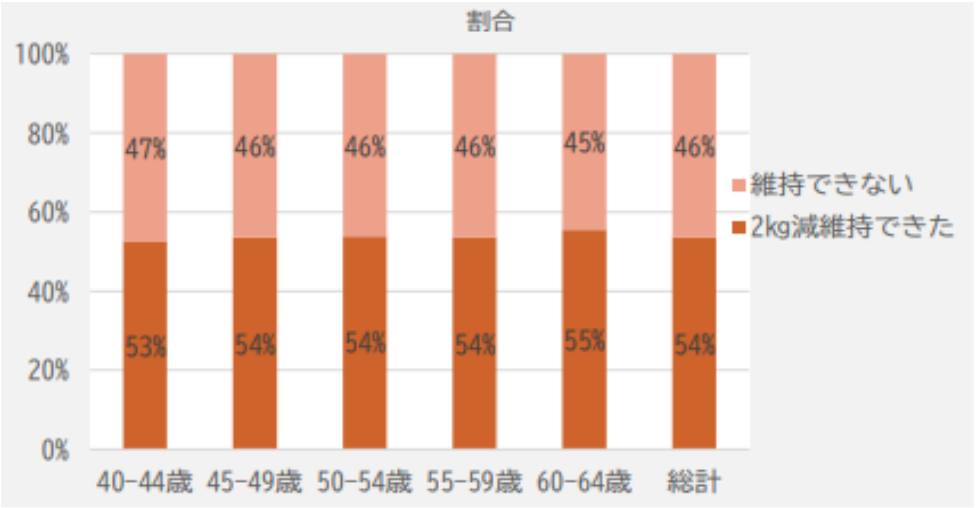
○ 年代が高くなるにつれ、２㎝２kg減達成者の割合は減少し、一方で脱落者の割合も減少しています。

○ 実績評価時２㎝２kg減達成者のうち翌年の健診まで２kg減を維持している人の割合は、年代による差はない。

①年代別（積極的支援, 全体, n=222, 372）



②実績評価時２㎝２kg達成者のうち翌年の健診まで２kg減を維持している者（n=44, 302）



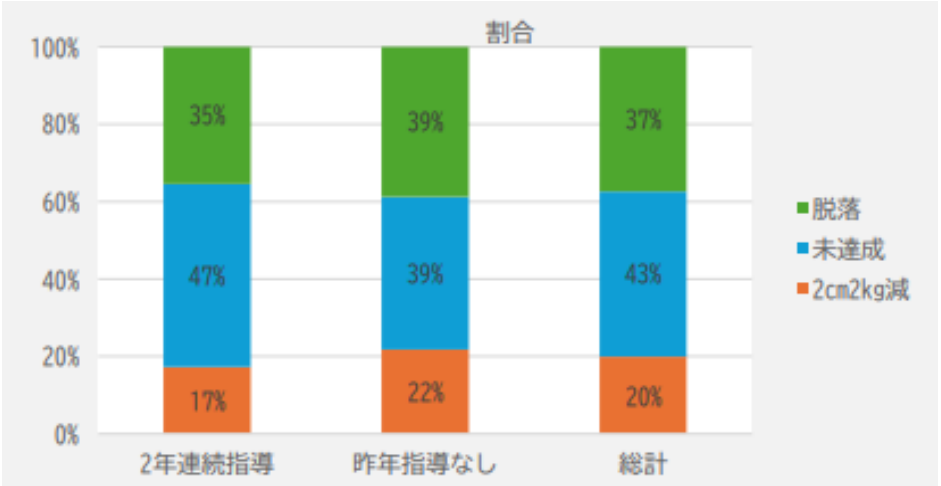
協会けんぽ

２－５　特定保健指導を受けたのうち　「リピータ」のその後を見てみました

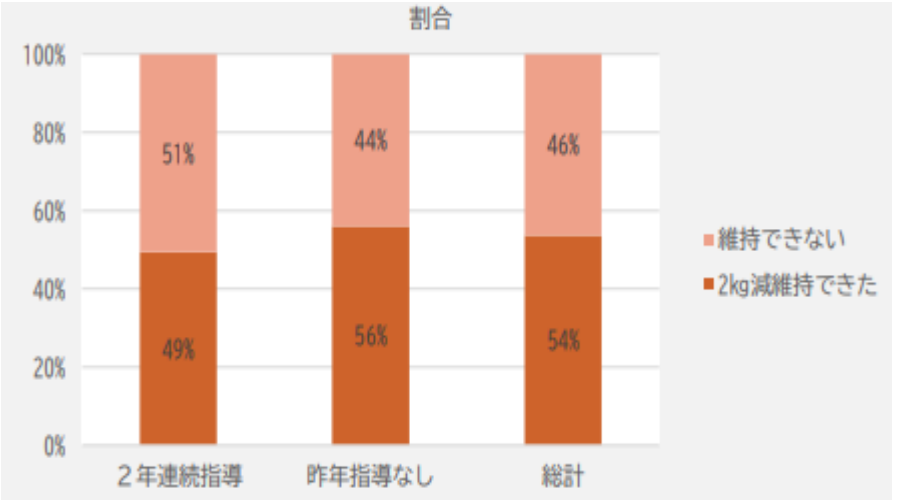
○ ２年連続保健指導（リピーター）は、昨年指導なしより２㎝２kg減の達成者割合は低く、未達成者割合が高く、脱落者は低くなっています。

○ 翌年健診まで２kg減を維持している者の割合は、リピーターのほうが低くなっています。

①連続保健指導の有無（積極的支援, 全体, n=222, 372）



②実績評価時２㎝２kg達成者のうち翌年の健診まで２kg減を維持している者（n=44, 302）



協会けんぽ

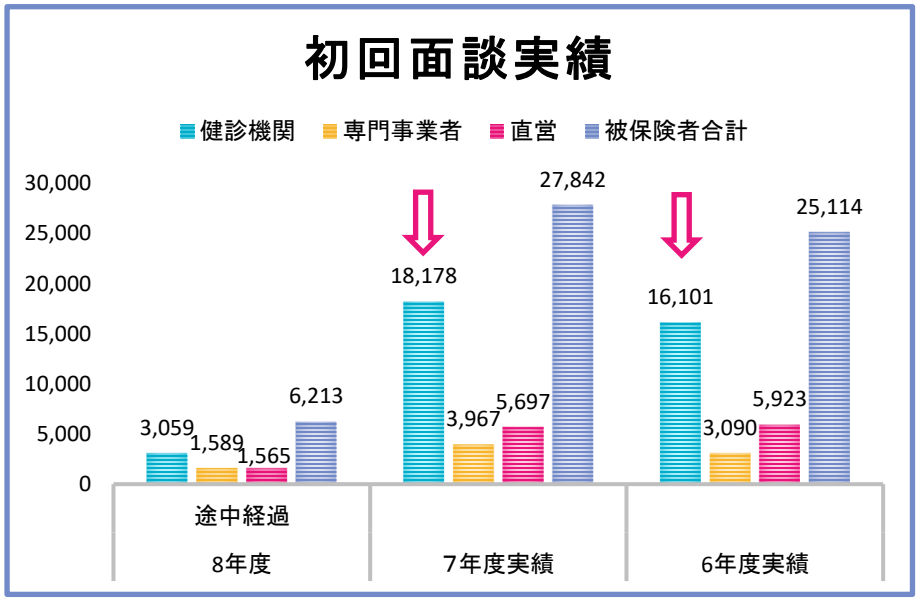
3 特定保健指導実施者数 初回面談 と 実績評価 参考値

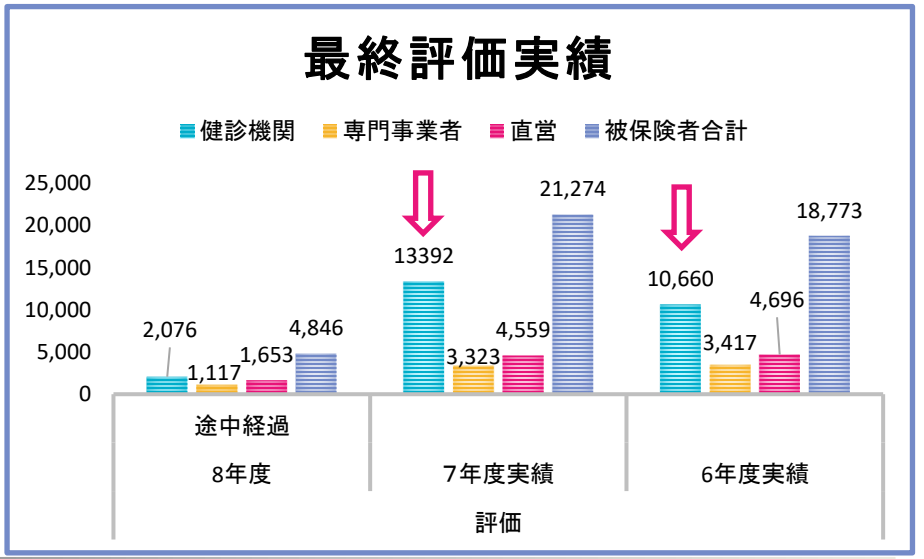
● 6年度と7年度を比較すると
初回面談、最終評価 ともに
健診機関の特定保健指導実績が顕著
に向上しています。

→集客方法の工夫やマンパワーの充足、
指導スキルの向上、ツールの利活用など
の効果が出ているようです。

● 8年度は、7年度の上期前半同時期
と比較すると、少し停滞気味です。

→人間ドックの開始などが健診当日の運
用に影響していることが考えられます。
運用に慣れるまで、予約数を加減したり
健診の流れの中の導線の確保が難しく
なっていますか？





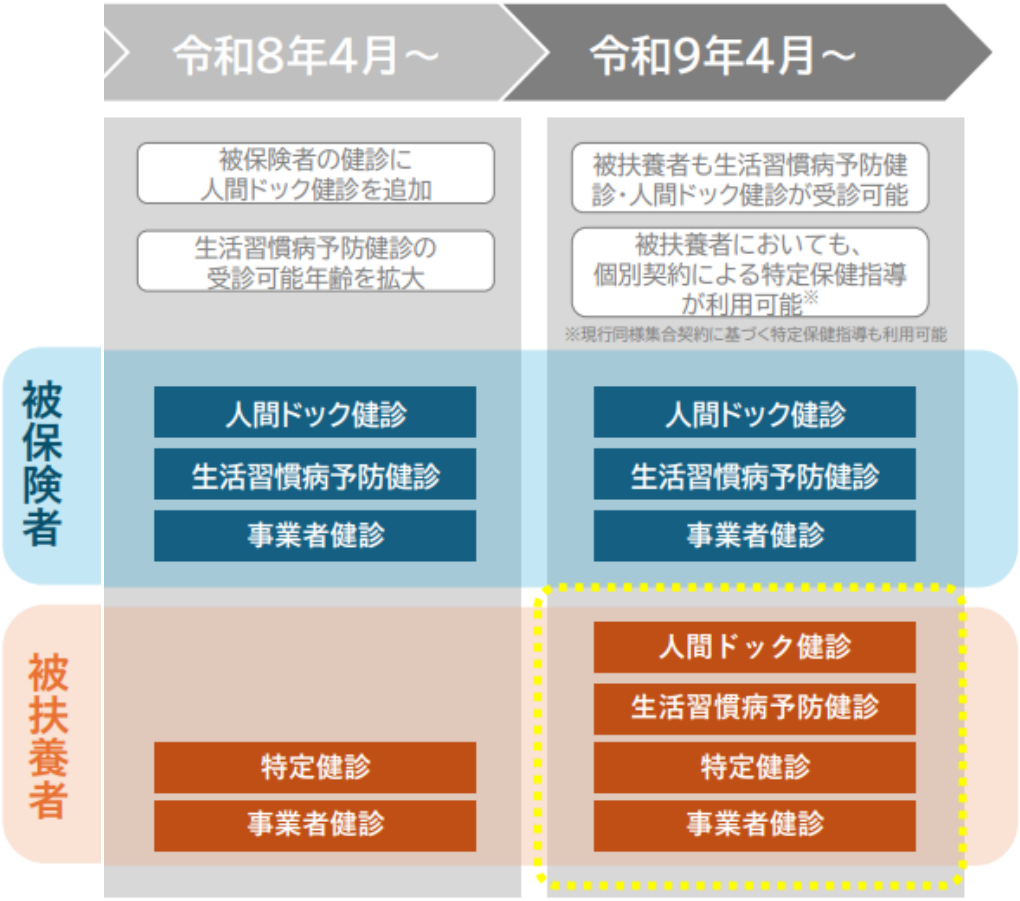
協会けんぽ

4　これから　「被扶養者の健診拡充に伴い、特定保健指導についても変わります。」

令和9年度以降

○ 被扶養者に対する生活習慣病予防健診及び人間ドック健診の受診に対する費用補助を開始します。
そのため、健診受診後の特定保健指導の実施においても、請求ルートなど運用 面での変更が発生します。

○ 被扶養者の特定保健指導では、
「個別契約に基づく特定保健指導」と、
「集合契約に基づく特定保健指導」の
いずれかに該当することになり、請求ルート及び委託単価も異なります。



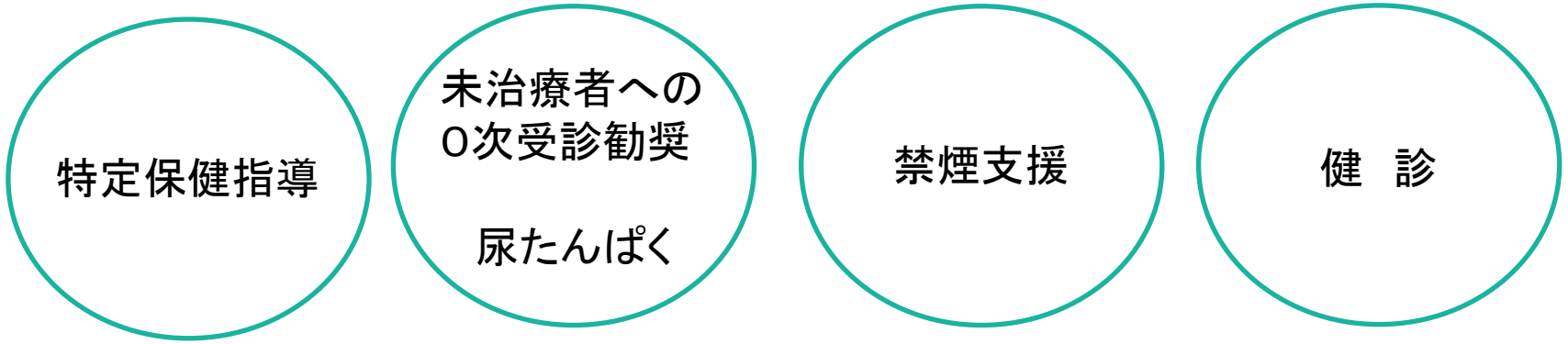
詳細は、協会けんぽ支部向け説明会後、適宜、情報提供予定です。

協会けんぽ

５　おわりに　　皆様とともに、切磋琢磨し、健康づくりを進めていきたい

KPI項目	令和8年度	令和7年度	
	KPI　%	実績%　速報	KPI%
生活習慣病予防健診受診率	５９．２	53.2（約77万人）	５７．４
事業者健診データ取得率	９．１	6.3（約8万8千人）	９．１
被扶養者の特定健診受診率	３０．５	26.6（約9万人）	２９．２
被保険者の特定保健指導実施率	２１．０	13.9（約2万人）	１７．６
被扶養者の特定保健指導実施率	２１．３	18.6（約1千人）	２０．２
血圧・血糖・脂質の未治療において健診受診月から10か月以内に医療機関を受診した者の割合	対前年度以上	6月現在 ３４．３	対前年度以上 （３２．３）
健康宣言事業所数	5900事業所以上	5675事業所	5200事業所以上

生活習慣病の発症や重篤化を抑え、加入者の皆様の健康増進を図る



協会けんぽ

本日の研修会のテーマ

6　本日の研修会のテーマ



・アウトカムにつながる保健指導の視点を取り入れる

・自分自身の保健指導の課題やその課題を解決するヒントを見つける



・今後、実際の保健指導や栄養指導で活用する

・保健指導者同士の交流により、スキルアップ、モチベーションアップにつながる

7　講師プロフィール

講師　坂根　直樹　氏
京都医療センター　臨床研究センター　予防医学研究室　室長

1963年京都府にお生まれです。
1989年自治医科大学医学部をご卒業後、京都府内で地域医療に従事され、神戸大学大学院医学系研究科分子疫学分野助手を経て、2003年より現職を務めていらっしゃいます。

ご専門は、糖尿病予防と糖尿病教育であり、京都医療センターでは1型糖尿病と家族性高コレステロール血症（FH）の専門外来をご担当されています。また、睡眠専門クリニックでCPAP外来、整形外科専門クリニックで肥満外来もご担当されています。そして、自身も医師として、特定保健指導を実施されています。NHKの「きょうの健康」や「ガッテン！」にもご出演歴があり、全国で、「楽しくてためになる」保健医療従事者向けの研修や講演・執筆活動を展開されています。

本日は、「保健指導者の課題解決トレーニング」をテーマとしましてご講演をいただきます。

今回はアーカイブ配信も予定しておりますので、ご講演後は復習を兼ねてそちらもご覧いただければと思います。

坂根先生のご講演の間に、10分間の休憩を取らせていただきます。
なお、みなさまから事前にいただいご質問について、ご講演の中でお答えいただきます。

「保健指導者の課題解決トレーニング研修」

講師　坂根　直樹　氏
京都医療センター　臨床研究センター　予防医学研究室　室長